



耕心 ~夢追いかけて~

佐世保市立吉井中学校
学校だより 第30号
文責 校長 川口 貴晴
令和3年11月11日(木)発行

【学校教育目標】自ら生きる力を培う生徒の育成
【めざす学校像】生徒一人ひとりの夢と志を育む学校
【一徳運動】「みそあじ運動(みなり・そうじ・あいさつ・じかん)」



感謝！トイレ清掃体験学習！

11月8日(月)は、2年生の総合的な学習の時間で、トイレ清掃体験を行いました。

「明社協」、「日本を美しくする会 各県支部」の方々など、遠くは千葉県や大分県から来校くださりました。

また、西本眞也教育長様も生徒と一緒に清掃体験をしていただきました。本当にありがとうございました。

開会式では、主催者である西本教育長様のあいさつ、校長あいさつ、掃除ビデオの視聴、トイレ清掃の意義・目的(「なぜ、トイレ掃除か。」)を全員で唱和しました。意義・目的は、「謙虚な人になれる」「気づく人になれる」「感動の心を育む」「感謝の心が芽生える」「心を磨く」の5つです。唱和を通して、生徒はもちろんのこと今回の体験学習に集ったものすべてが、心を磨くためにトイレ清掃を頑張ろうと決意したことと思います。

その後、各班のリーダー紹介があり、班(10班編成)ごとに移動し、学校中のトイレを清掃しました。開会式の折に「正直に今回のトイレ掃除はいやだな~と思っている人」と尋ねると多くの生徒が素直に挙手をしました。最初は清掃体験を「嫌だなあ」と思っていた生徒たちでしたが、体験が始まると嫌な顔もせず、真剣な表情で黙々と一心不乱に取り組んでいました。最後には笑顔いっぱいの晴れ晴れとした表情でした。

便器磨き・手洗い場磨き・壁磨き・床磨き・乾いた雑巾でのふきあげと次々に活動し、あっという間の2時間でした。最後は、「やってよかった」「すっきりした」「達成感がある」「今後はきれいに使おうと思う」「誰かがいつもやってくれていたのだと感謝の思いをもった」などの声が次々にあがっていました。

この体験をしたことで、さらに2年生は成長すると思います。まもなく生徒会選挙もあります。リーダーとして吉井中の中心となれるよう、今日学んだことを活かしてほしいと思います。

2年生の皆さんのおかげで、本校のトイレ、手洗い場が全てピカピカになりました。「きれいにしてくれてありがとう！」以外の言葉が見つかりません。1・3年生の皆さんにお願いします。2年生が一生懸命ピカピカにしたトイレを“今後もずっと維持”してほしいと思います。

私も、久々に床にはいつくばって、汚泥に手を突っ込んで掃除に励ませていただいたおかげで、心を少しだけ磨くことができたと思います。やっぱり師弟同行は大切だなと再確認できました。感謝！感謝です！

なぜ、トイレ掃除か。

1. 謙虚な人になれる

どんなに才能があっても、傲慢な人は人を幸せにすることはできない。人間の第一条件は、まず謙虚であること。謙虚になるための確実で一番の近道が、トイレ掃除です。

2. 気づく人になれる

世の中で成果をあげる人とそうでない人の差は、無駄があるか、ないか。無駄をなくすためには、気づく人になることが大切。気づく人になることによって、無駄がなくなる。その「気づき」をもっとも引き出してくれるのがトイレ掃除です。

3. 感動の心を育む

感動こそ人生。できれば人を感動させるような生き方をしたい。そのためには自分自身が感動しやすい人間になることが第一。人が人に感動するのは、その人が手と足と体を使い、さらに身を低くして一所懸命取り組んでいる姿に感動する。特に、人のいやがるトイレ掃除は最良の実践です。

4. 感謝の心が芽生える

人は幸せだから感謝するのではない。感謝するから幸せになれる。その点、トイレ掃除をしていると小さなことにも感謝できる感受性豊かな人間になれます。

5. 心を磨く

心を取り出して磨くわけにいかないの、目の前に見えるものを磨く。特に、人のいやがるトイレをきれいにすると、心も美しくなる。人は、いつも見ているものに心も似てきます。

認定NPO法人 日本を美しくする会・佐世保掃除に学ぶ会

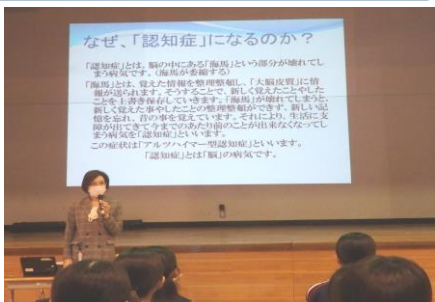


※本体験学習を支えてくださった「認定NPO法人日本を美しくする会」、「千葉掃除に学ぶ会」、「筑豊掃除に学ぶ会」、「福岡便教会」、「糸島掃除に学ぶ会」、「大分掃除に学ぶ会」、「佐世保掃除に学ぶ会」、「佐世保明るい社会づくり運動推進協議会(明社協)」の皆様、本当にありがとうございました。今回の経験を今後の学校・家庭生活に必ず活かしてまいりたいと思います。

※本体験学習の様子は本校HPでご覧いただけます。生徒が必死に清掃している様子を見てあげてください。
http://www.city.sasebo.ed.jp/jh-yoshii/asp/imgkiji/pub/detail.asp?c_id=6231&id=44152

福祉講座・連合生徒会を実施！

11月5日(金)、グループホームさくらプレイス佐々から管理者の鶴田雅代さんに来校いただき、2年生で福祉講座を実施しました。福祉や介護の最前線で従事されている方のお話で、大変参考になりました。介護の仕事の意義や仕事内容、コロナ禍での大変さなども詳しくお話いただき、キャリア教育としても大変ためになるお話ばかりでした。



11月8日(月)、佐世保市北部にある中学校5校の代表者が吉井地区コミュニティセンターに一堂に会し、連合生徒会を実施しました。本校からは、生徒会の松瀬彰博生徒会長、江口宝輝副会長、松瀬怜奈文化専門副委員長の3名が参加し、各校の生徒会と共に生徒会運営で工夫していることや課題について協議しました。本会は、例年各校から多くの生徒会役員



が参加して行われますが、コロナ禍のため各校3名と限定しての実施となりました。本校生徒会は、本当によく頑張っています。吉井中が落ち着き、前進しているのには、生徒会の活躍なくしては語れません。本会で得た他校の良さなどを本校でも実施して、さらに「もっと！よっ！いいね！」と言える吉井中にしてほしいと願っています。

立派な芋が収穫できました！

「やまぐち園」で栽培していたさつま芋が収穫の時を迎えました。畑づくりから土づくり、種芋植えから肥料まきなど、頑張ってきた成果が、立派なさつま芋となって結実しました。収穫の場面におじゃますると、どの生徒も自分が植えた場所を掘り起こし、収穫の喜びを味わっていました。土をいじる機会が少なくなった昨今ですので、収穫の喜びと共にものを育てることの大切さや大変さを味わってくれたことと思います。

私も立派なさつま芋をいただきました。どんなふうにして食べようかと今からわくわくしています。



保護者向け高校入試説明会

11月1日(月)、3年生の保護者対象の高校入試説明会を実施しました。多くの保護者の方々が来校され、高校進学にかかる保護者の思いが伝わりました。会の中で、公立高校入試の変更点や願書の書き方、今後の日程などが説明され、進路への意識が一気に高まったことと思います。



現在、三者面談も実施されています。現時点でお客様の進路希望校を親子で話し合うのはもちろんのこと、進路に関する疑問点や確認事項があれば、三者面談の際に、遠慮なくお尋ねください。今日から始まった、第3回テストにも気合を込めて臨んでいました。着実に進路に向かっていく姿勢を喜ばしく思います。

吉井中学校では、3年生の進路実現を3先生職員だけではなく、全教職員でしっかりと支えて参ります。



各種大会表彰者を紹介します。

11月3日までに実施された各種競技入賞した生徒の表彰式を行いました。よく頑張りました！【敬称略】

○佐世保市中学 学年別新人卓球大会

【中学生1年女子の部】

優勝 松本 優奈
第2位 濱崎 優衣



○第46回県北地区少年柔道大会

【個人戦 中学生 男子の部】

第3位 池田 優大



○令和3年度 郡市対抗中学3年 選抜強化練習会

優勝 佐世保市選抜 坂口 怜

○長崎県中学校新人大会陸上競技

【男子共通200m】第3位 大庭 遙

【男子2年100m】第3位 大庭 遙



以上です。おめでとうございます。日頃の鍛錬の成果を心から讃えたいと思います。

※今後のおもな行事を紹介します。

- 12日(金)スクールコンサート
- 15日(月)ふるさと歴史発見学習(1年生)
- 18日(木)校区内クリーン作戦(PTA・生徒会共催)

